2027年3月期第2四半期
決算説明資料

2026年11月11日

株式会社ユシロ

Standard Market | 5013

INDEX

会社概要　Company Overview 3

会社概要 4
ユシログループ　国内外ネットワーク 5
ユシログループの事業ポートフォリオ 6
ものづくりに欠かせない金属加工油剤 7
既存事業の進化：クレンリネス 8
新領域の開拓：キー・マテリアル（床用ガラスコーティング等） 9
新領域の開拓：キー・マテリアル（ビタミンB2光触媒） 10
新領域の開拓：キー・マテリアル（シクロデキストリン誘導体） 11
業績推移 12

2027年3月期第2四半期　決算業績概要　Results 13

連結業績概要 14
営業利益増減要因分析 15
セグメント別売上高 16
セグメント別営業利益 17
拠点別売上高・営業利益増減 18

2027年3月期 業績予想　Forecast 19

中東情勢の当社事業への影響 20
2027年3月期 連結業績予想 21
営業利益増減要因分析 22
株主還元 23
財務・投資戦略 24
企業価値向上に向けた取り組み（現状分析） 25
企業価値向上に向けた取り組み 26

©2026 YUSHIRO INC. All Rights Reserved.

会社概要



会社概要

会社概要

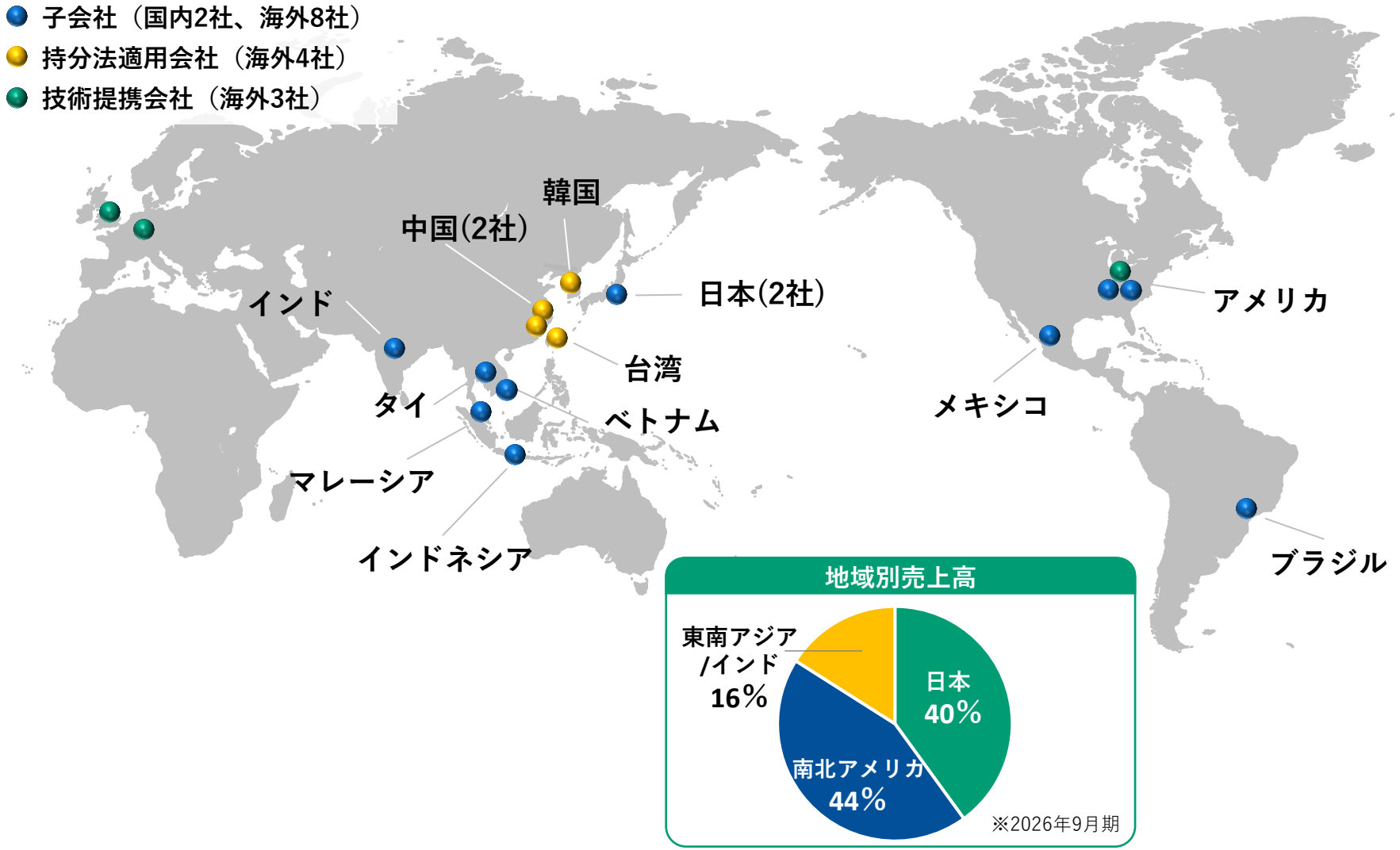
社　　名	**株式会社ユシロ** （英文名称：Yushiro Inc.）
本　　社	神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目９番３号
代 表 者	代表取締役社長 CEO　有坂　昌規
創　　立	昭和19年7月24日
事業内容	・金属加工油剤(切削油剤、圧延油剤、引抜油剤、プレス油剤、ダイカスト離型剤、さび止め油剤、洗浄剤等）の製造・販売 ・ビルメンテナンス製品（フロアメンテナンス用ワックス及び剥離剤、洗浄剤、メンテナンス用機器）の製造・販売
資 本 金	4,249百万円
連結子会社	【国内】 ・トランスケム株式会社（旧ユシロ運送㈱）（製品輸送） ・ユシロ・ゼネラルサービス株式会社　（倉庫管理業務） 【海外】 北米、南米、アジア地域に合計８社のネットワークを有しています
従業員数	単体：357名　連結：865名　（2026年９月末現在）

海外ネットワーク詳細

地域	国	社名	住所
北米	アメリカ	YUSHIRO MANUFACTURING AMERICA,INC.	米国インディアナ州 シェルビービル市
		QualiChem,Inc.	米国バージニア州セイラム市
	メキシコ	YUSHIRO MEXICO S.A.DE C.V.	メキシコ国グアナファト州
南米	ブラジル	YUSHIRO DO BRASIL INDUSTRIA QUIMICA LTDA.	ブラジル国 サンパウロ州カサパバ市
アジア	タイ	YUSHIRO(THAILAND)CO.,LTD.	タイ国チョンブリ県
	マレーシア	YUSHIRO MALAYSIA SDN.BHD.	マレーシア国 セランゴール州プチョン
	インドネシア	PT.YUSHIRO INDONESIA	インドネシア国 西ジャワ州カラワン県
	インド	YUSHIRO INDIA COMPANY PRIVATE LIMITED	インド国 ハリヤナ州グルグラム
	ベトナム	YUSHIRO VIETNAM CO.,LTD.	ベトナム国ホーチミン市 *非連結子会社
	中国	上海尤希路化学工業有限公司	中国上海市宝山区 ＊持分法適用会社
		如東尤希路化学工業有限公司	中国江蘇省南通市如東県 ＊持分法適用会社
	台湾	三宜油化股份有限公司	台湾台北市 *持分法適用会社
	韓国	汎字化学工業株式会社	韓国ソウル特別市 ＊持分法適用会社

©2026 YUSHIRO INC. All Rights Reserved.

ユシログループ　国内外ネットワーク



©2026 YUSHIRO INC. All Rights Reserved.

ユシログループの事業ポートフォリオ

自動車分野の金属加工油剤事業を基盤に、非自動車分野や新たな事業領域を拡大

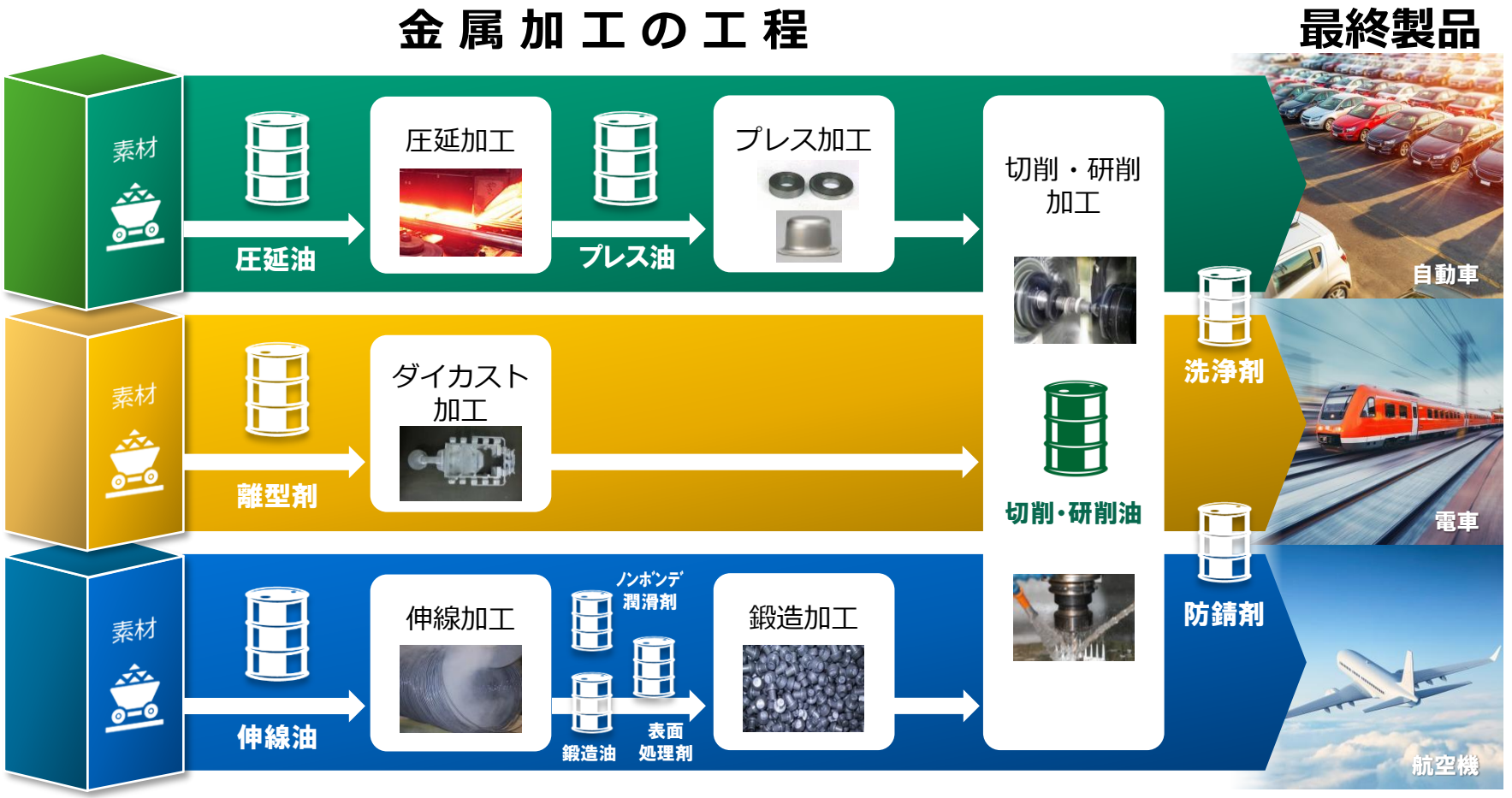


モノづくり（金属加工油剤事業）	モノづくり（金属加工油剤事業）	クレンリネス	キー・マテリアル	新規事業
自動車分野	非自動車分野	・ガラスコーティング剤 ・車両向け製品 ・洗濯槽クリーナー	• CD誘導体 • 光触媒	

©2026 YUSHIRO INC. All Rights Reserved.

ものづくりに欠かせない金属加工油剤

- 顧客の金属加工の各工程において、前後工程を踏まえた最適な金属加工油剤を提供



©2026 YUSHIRO INC. All Rights Reserved.

既存事業の進化：クレンリネス

クレンリネス

心地よく、安心できる空間の実現

コーティング展開
車両展開
洗濯槽クリーナー販路拡充

- ガラスコーティング・車両・洗濯槽クリーナーに注力
- 海外販路など積極的に開拓

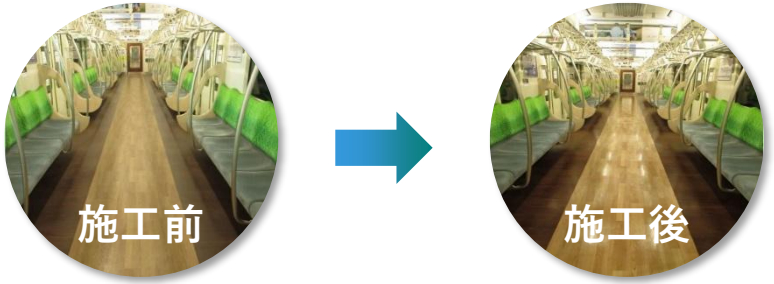
方向性	戦略	現状評価
ガラスコーティング剤拡販	施工会社との協業	ショッピングセンターや鉄道車両の床面に展開中
ビルメンテナンス隣接市場の開拓	オフィス／車両／住居向け販路拡充	車両向け製品を展開中
OEM先との連携	店舗販路の維持・創出	洗濯槽クリーナーの販路拡充 マレーシア、ベトナムでの販売開始

©2026 YUSHIRO INC. All Rights Reserved.

既存事業の進化：クレンリネス

● 床用ガラスコーティングの展開
（剥離可能ガラスコーティングを開発）

電車（車両の床）



耐傷性	**重歩行エリアに** 黒パッドで20往復	影響なし	
耐薬性	**アルコールの影響** エタノール滴下15分後	影響なし	
	塩素消毒の影響 漂白剤滴下15分後	影響なし	
	トイレの飛び散りに アンモニア滴下15分後	影響なし	

注 施工場所やその他条件により異なる場合があります。

● レール・車輪用潤滑材の開発
（鉄道総合技術研究所との共同研究及び開発中）

ユシロオリジナル　レール・車輪潤滑材

騒音を減らし、レール寿命を延ばす。
レール摩擦調整材 ノイズレスレール®S





性能試験データ

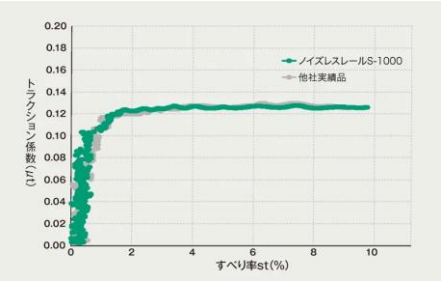
評価試験は公益財団法人鉄道総合技術研究所に委託しました。

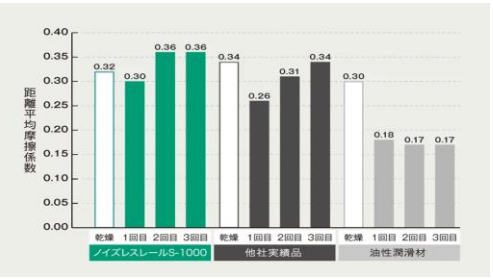
車輪/レール摩擦特性評価
［2円筒転がり接触試験］
車輪/レール間介在時の
摩擦特性評価



ブレーキ性能評価
［定置ブレーキ試験］
車輪/制輪子間に介在時の
ブレーキ性能への評価







摩擦特性は他社実績品と同等です。　ブレーキ性能に及ぼす影響は小さいです。空転・滑走が発生しにくい設計。

©2026 YUSHIRO INC. All Rights Reserved.

新領域の開拓：キー・マテリアル

キー・マテリアル

機能性材料で
サステナビリティ材料のパイオニア

CD誘導体展開
CD誘導体生産体制
ビタミンB2光触媒（光アクション）新用途

- 製造体制を整備し、様々な供給形態へ対応

方向性	戦略	現状評価
ビタミンB2光触媒（光アクション）の隣接分野への展開	新規隣接分野への展開	除菌消臭剤の「ぴきゃみん」シリーズを、食品工場へは防カビ施工剤を、各々展開中
CD誘導体の用途・技術開発	シクロデキストリンの包接機能を軸とした素材、用途開発	多分野からの引き合い 顧客での適用評価継続中
柔軟な生産体制	受注～製品製造～出荷納品までの社内システム、スキームの最適化	スケールアップ中 新ラインの計画具体化

©2026 YUSHIRO INC. All Rights Reserved.

● 高純度シクロデキストリン誘導体の大量合成に成功

製造設備の強化により、今まで困難だった**β-シクロデキストリン-6-トシレート(CDTS)の大量合成に成功。（図２）**
CDTSの**純度90%以上**となる高純度のCDTSの**量産化**を可能にした

β-シクロデキストリン（CD）とは

- トウモロコシ由来の環状の糖化合物質
- 二酸化炭素を吸収する過程を経て生成され、CD生成酵素を用いて合成
- カーボンニュートラルな素材として近年注目されている
- 特徴：立体的に円を描くような構造を持ち中は空洞。環の内側が疎水性・外側が真逆の親水性であるため、特に水中では疎水性の化合物を取り込む（図１）



一般に広く流通しており
消臭剤などに活用

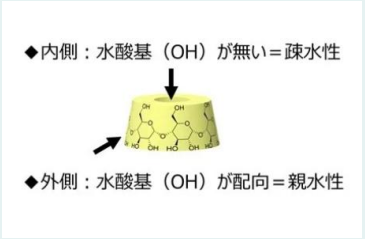


図1：CDの環構造の特徴

CDTS量産化のメリット

- トシル基部位を化学反応により多能な官能基へ変換可能
- 大学研究機関・企業への高純度タイプのシクロデキストリン誘導体の拡販及び需要増への対応
- 各種CD誘導体の設計・開発に幅広く活用でき、社会実装に向けた検討が可能
- 量産化によるコスト削減や安定供給が可能

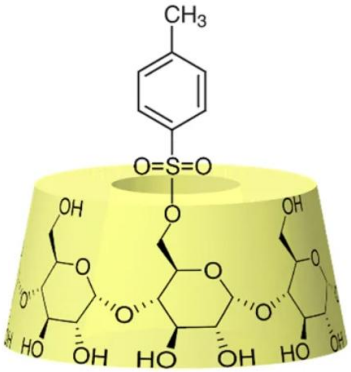


図２：CDTSの化学構造

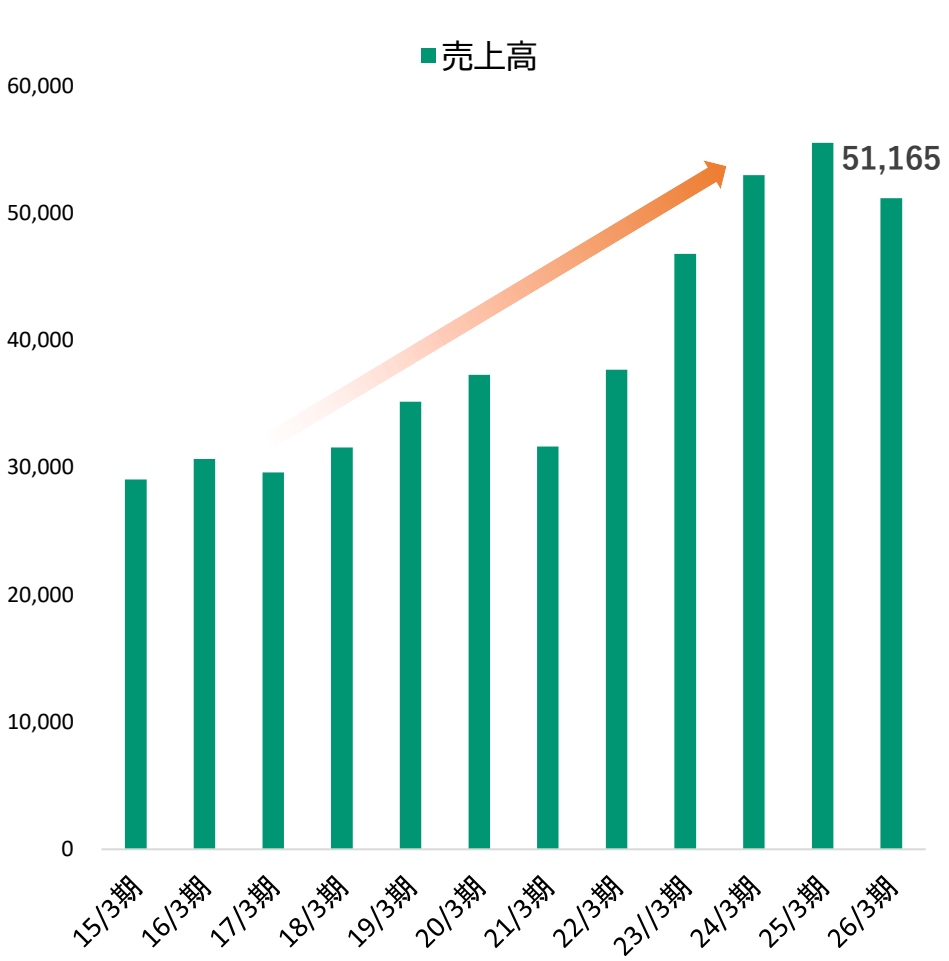
今後の展望

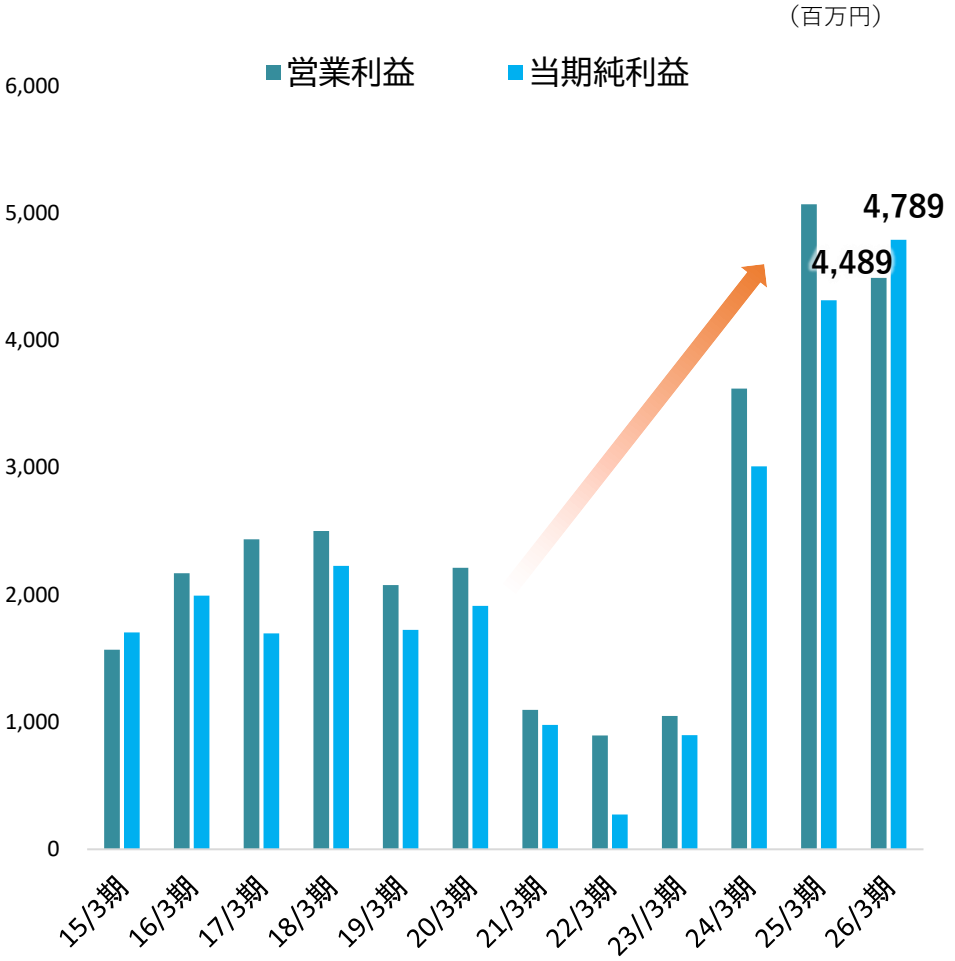
- 今後も新たな材料開発を目指す企業に向けて、CDTSをはじめとするCD誘導体関連製品を積極的に展開予定
- CDが現用されている食品分野や各種工業用途においても、量産化によるコスト低減や安定供給の観点での貢献を視野に展開を検討

©2026 YUSHIRO INC. All Rights Reserved.

業績推移

- コロナ禍以降、売上高の拡大とともに収益性の向上が進み過去最高水準で推移





©2026 YUSHIRO INC. All Rights Reserved.

2027年3月期 第2四半期
決算業績概要



連結業績概要

- 売上高は、中国合弁会社を連結範囲から除外し持分法適用関連会社化※したものの、販売価格の改定と堅調な需要に支えられ増収。
- 営業利益は、価格改定効果に加え、コスト抑制に努め増益。
- 経常利益は、営業利益の増加に加え、持分法投資利益の増加により増益。
- 中間純利益は、投資有価証券売却益の剥落などにより減益。

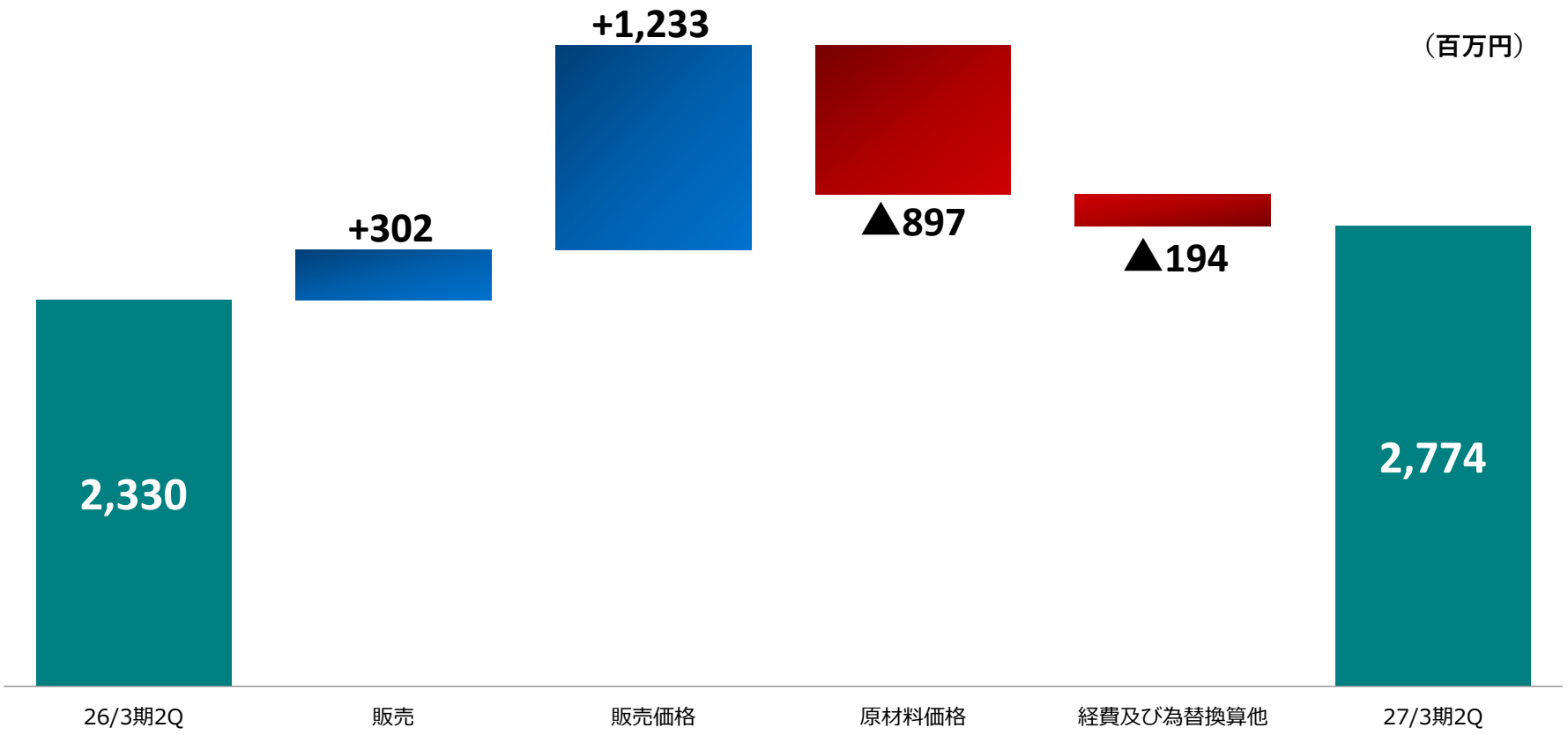
※前期第１四半期まで連結子会社としていた中国の上海尤希路化学工業有限公司は持分法適用会社に移行。

（百万円）	26/3期2Q	27/3期2Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	25,690	**27,424**	**+1,734**	**+6.8%**
営業利益	2,330	**2,774**	**+443**	**+19.0%**
経常利益	2,904	**3,430**	**+526**	**+18.1%**
親会社株主に帰属する中間純利益	2,934	**2,775**	**△158**	**△5.4%**

©2026 YUSHIRO INC. All Rights Reserved.

営業利益増減要因分析

- 原材料価格上昇の影響を受けたものの、販売価格改定の効果や販売増により増益。

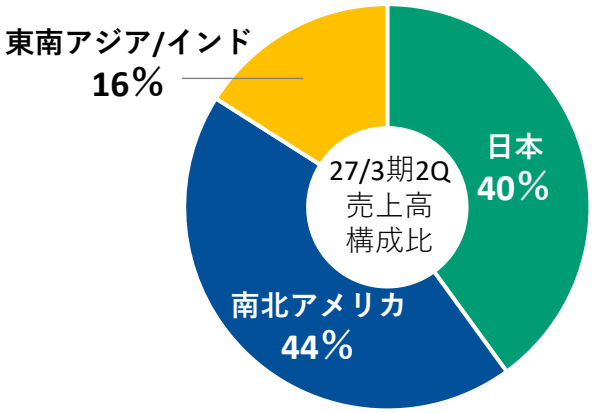


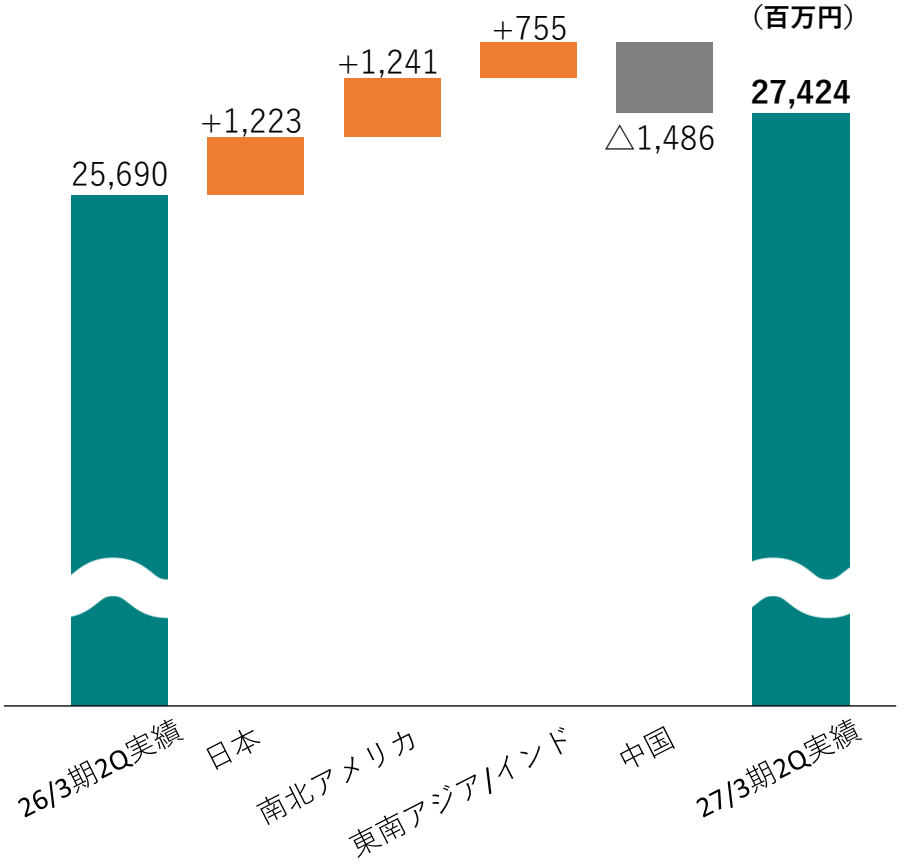
©2026 YUSHIRO INC. All Rights Reserved.

セグメント別売上高

- 日本及び東南アジア／インドは需要が堅調に推移し、南北アメリカは前期の関税政策の影響が解消し、全てのセグメントで増収

	26/3期2Q 実績	27/3期2Q 実績	増減率
日本	9,727	10,950	+12.6%
南北アメリカ	10,911	12,152	+11.4%
東南アジア/インド	3,564	4,320	+21.2%
中国	1,486	—	—



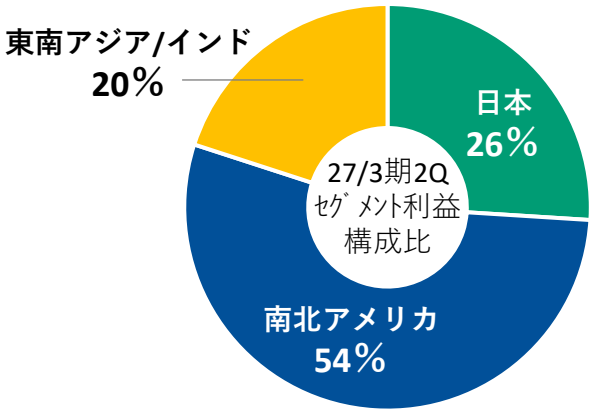


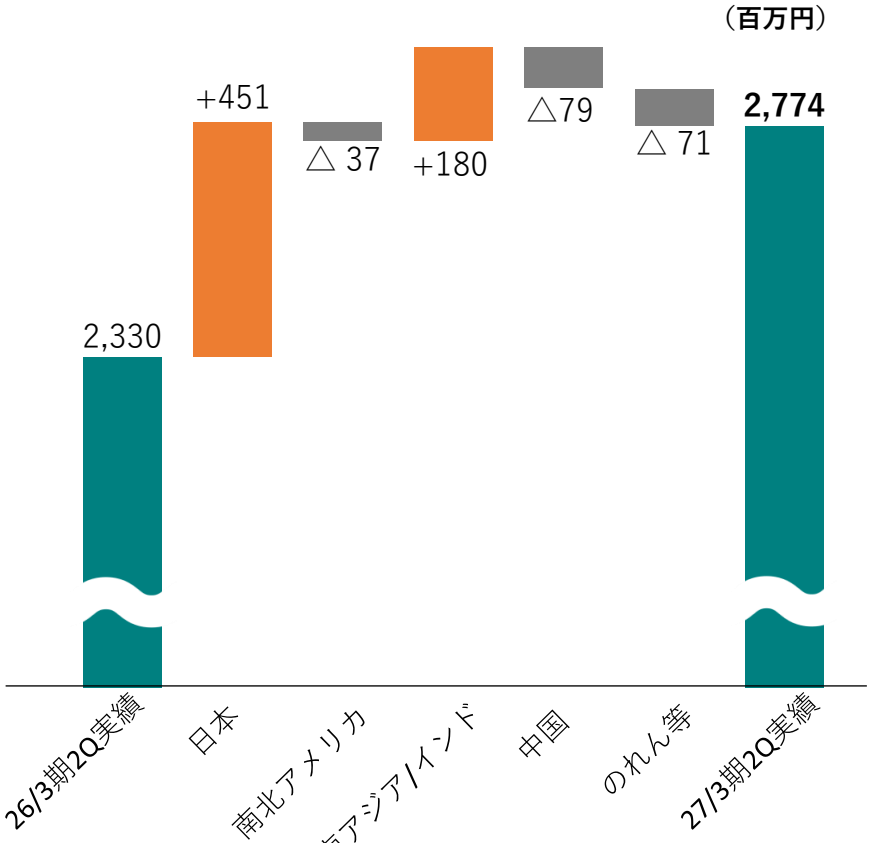
©2026 YUSHIRO INC. All Rights Reserved.

セグメント別営業利益

- 日本と東南アジア／インドは、販売価格改定の効果やコスト抑制に努め増益
- 南北アメリカは、人件費等の増加や市場環境の変化による影響があり減益

	26/3期2Q 実績	27/3期2Q 実績	増減率
日本	337	788	+133.6%
南北アメリカ	1,713	1,676	△2.2%
東南アジア/インド	430	610	+41.9%
中国	79	—	—





©2026 YUSHIRO INC. All Rights Reserved.

拠点別売上高・営業利益増減

- 日本：原材料価格の急激な上昇に対応した販売価格の改定効果で、増収増益
- ユシロアメリカ：人件費等のコスト上昇や市場環境の変化もあり、増収減益
- タイ：販売は堅調に推移し、継続的な原料代替等による原価低減が寄与し増収増益

（百万円）		拠点別売上高			拠点別営業利益		
		26/3期2Q	27/3期2Q	増減率	26/3期2Q	27/3期2Q	増減率
日本※		10,907	12,145	+11.4%	216	682	+214.9%
米国	ユシロアメリカ	2,841	2,923	+2.9%	405	351	△13.2%
	クオリケム	5,951	6,812	+14.5%	834	855	+2.5%
メキシコ		1,197	1,346	+12.4%	333	314	△5.9%
ブラジル		961	1,115	+16.0%	180	217	+20.6%
マレーシア		855	1,044	+22.2%	125	177	+41.4%
タイ※		1,462	1,587	+8.6%	197	302	+53.0%
インド		830	996	+20.0%	37	49	+29.1%
インドネシア		852	922	+8.2%	118	120	+1.8%
中国（上海）		1,486	—	—	79	—	—

※単純合算数値

©2026 YUSHIRO INC. All Rights Reserved.

2027年3月期 業績予想



中東情勢における当社事業への影響

影響を一定程度見通すことが可能となったことから、業績予想を修正

足元の影響

- 原油由来の原材料の供給不足と価格上昇及び物流などのコスト増加
- 既存顧客による先行調達の増加傾向が続く
- 自動車メーカーを中心とした当社製品需要に大きな変化はなし
- 長期化によるマクロ経済の影響は見通せず

当社の対応

- 原材料及び各種コスト増に伴う、顧客への価格改定の実施
- 製品出荷数量の平準化及び一部制限
- 代替原料への置き換えの推進
- グローバルネットワークによる調達手段の多様化の検討
- 販管費を中心とした経費削減による対応

©2026 YUSHIRO INC. All Rights Reserved.

2027年3月期 連結業績予想

- 売上高：南北アメリカ、東南アジア／インドでの増収、加えて円安もあり増収予想
- 営業利益：増収、販売価格改定及びコスト抑制により、前期・前回予想値を上回る増益予想
- 当期純利益：前期の投資有価証券売却益の反動を吸収し、前期並みを予想

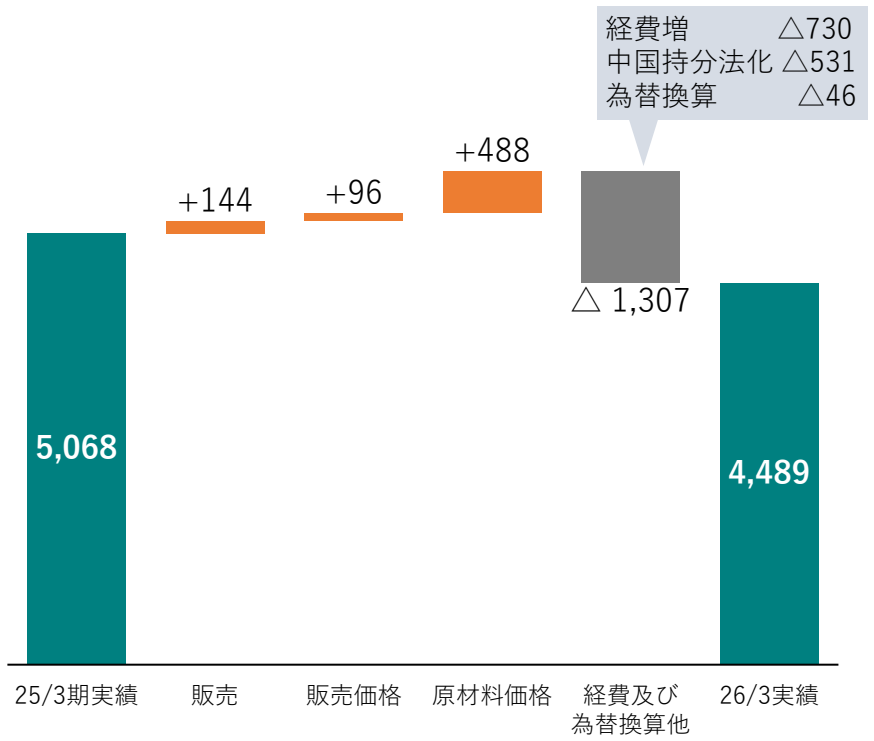
（百万円）	26/3期実績	27/3期予想（5/15発表）	27/3期予想（11/11修正）	前期比 増減額	前期比 増減率	5/15発表からの増減額
売　上　高	51,165	**52,200**	**56,500**	+5,335	+10.4%	**+4,300**
営 業 利 益	4,489	**4,050**	**5,200**	+711	+15.8%	**+1,150**
経 常 利 益	5,671	**5,150**	**5,800**	+129	+2.3%	**+650**
当期純利益	4,789	**3,900**	**4,800**	+11	+0.2%	**+900**
R　O　E	10.5%	**8.0～10.0%**	**10.0%～**	－	－	－
為替レート	151¥/$	**156¥/$**	**158¥/$**	－	－	－

©2026 YUSHIRO INC. All Rights Reserved.

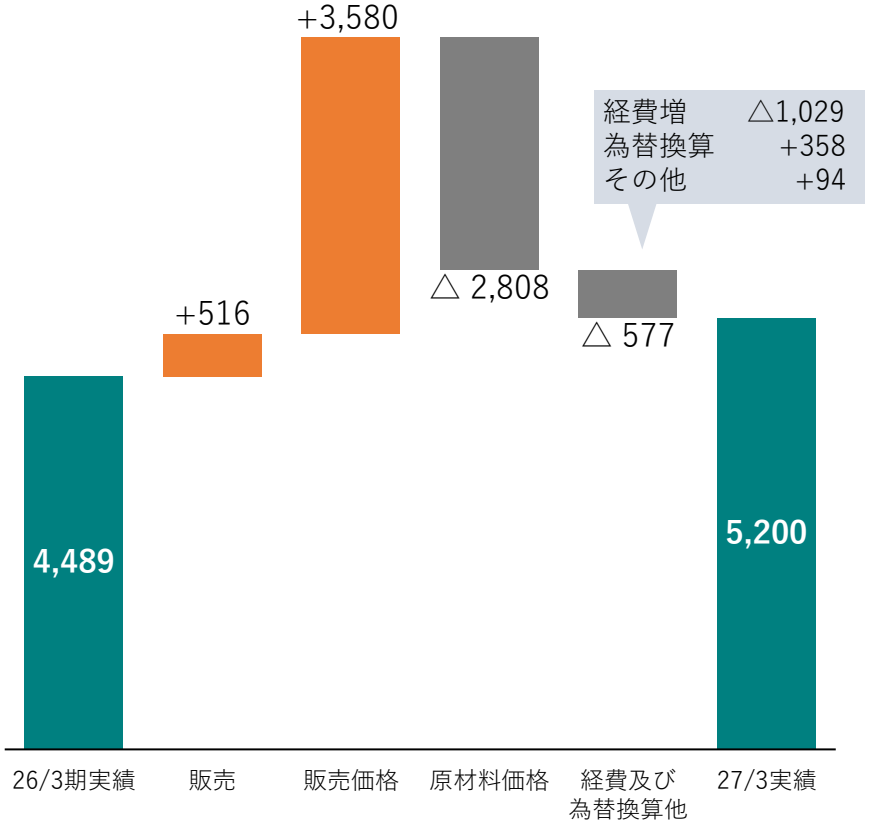
営業利益増減要因分析

- **27/3期：原材料価格上昇及び経費増加の影響はあるものの販売価格改定に努め、増益予想**

2026年3月期　実績　（百万円）



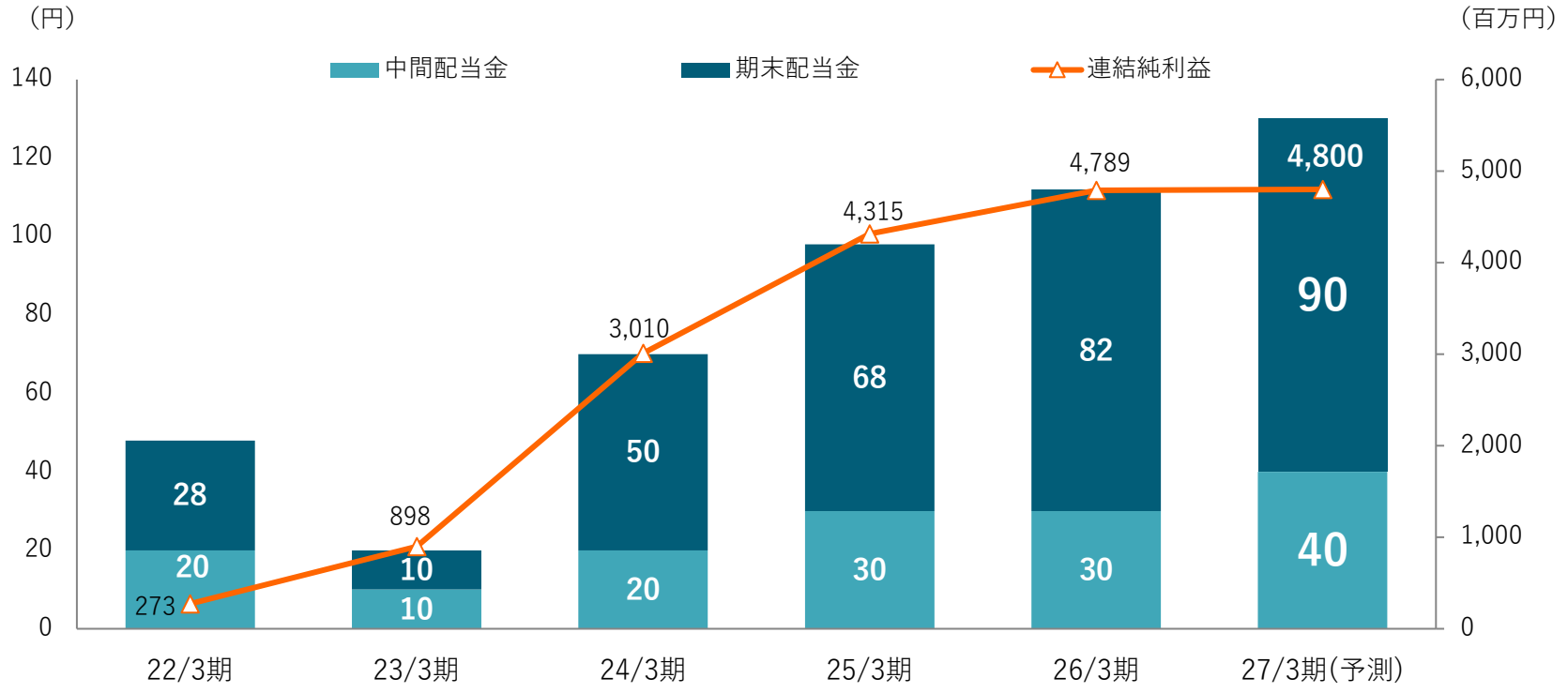
2027年3月期　予想　（百万円）



©2026 YUSHIRO INC. All Rights Reserved.

株主還元

- **27/3期通期の配当金は１株当たり130円を予想（前期実績より18円増配）**
  中間配当金は１株当たり40円を実施



	22/3期	23/3期	24/3期	25/3期	26/3期	27/3期(予測)
配当性向（連結）	239.2%	30.3%	31.7%	30.8%	30.9%	**34.7%**
1株当たり配当金（通期）	48円	20円	70円	98円	112円	**130円**

©2026 YUSHIRO INC. All Rights Reserved.

財務・投資戦略

- 成長・維持及び更新に対する投資や、株主還元及び財務体質の強化に充当
- ２年間で、計画の6割強を実行

中期経営期間
３年間の営業CF
132億円

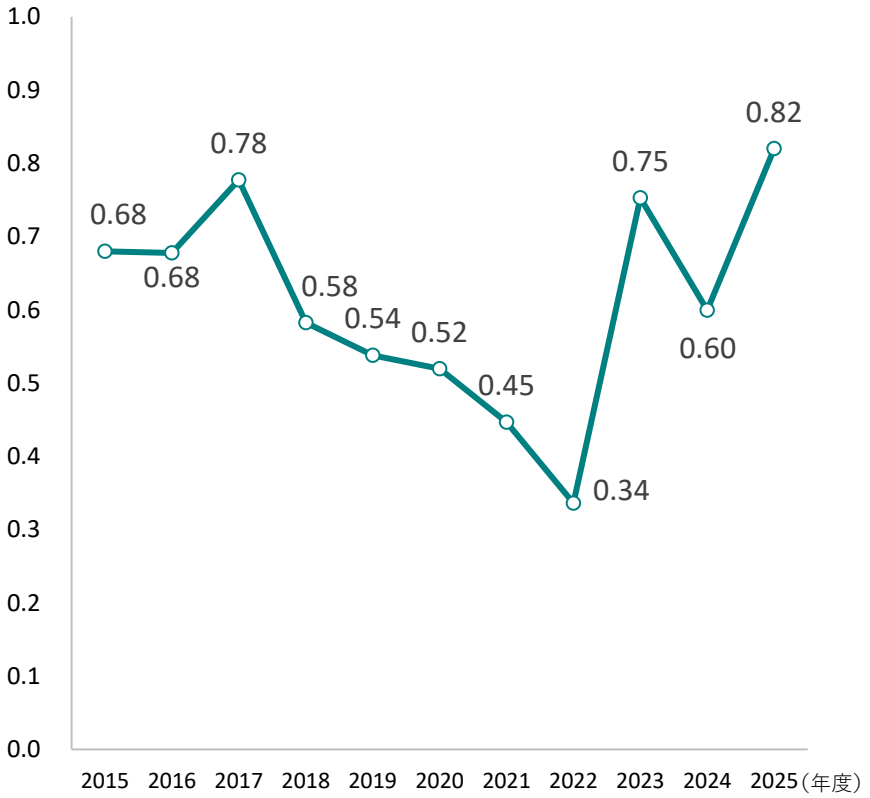
			投資実績（26.3期）	計画変更点
投資	原料一括購入による原価低減のための物流倉庫の増築	10億円	敷地整備/建設準備	CD誘導体新プラント建設は外部リソース活用に戦略転換
	生産性向上のためのIT投資	5億円	新ERP/営業DX機能追加等	
	国内設備　維持・更新投資（減価償却費並）	12億円	生産設備の合理化投資 研究開発機能の充実・強化投資	
	海外設備　維持・更新投資	20億円	米国クオリケム社の生産能力拡張のための投資計画を開始	
	戦略案件投資	15億円		戦略案件投資に機動的な対応をするために追加新設
株主還元	配当（連結配当性向30%以上） 自己株式の取得	70億円	中間配当：30円 期末配当：82円 自社株買い：10億円	
財務体質強化施策	借入返済等		約定返済	
			進捗率：63%	

©2026 YUSHIRO INC. All Rights Reserved.

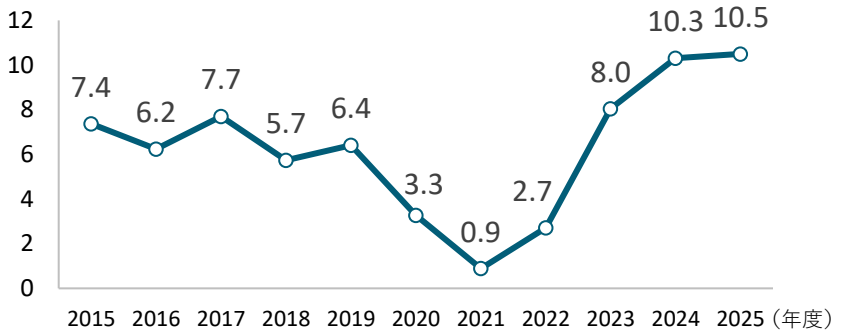
企業価値向上に向けた取り組み（現状分析）

- **PBR1倍割れの状況が継続しており、資本コスト(WACC)を上回るROE水準を安定的に維持できていないことが要因であると認識**

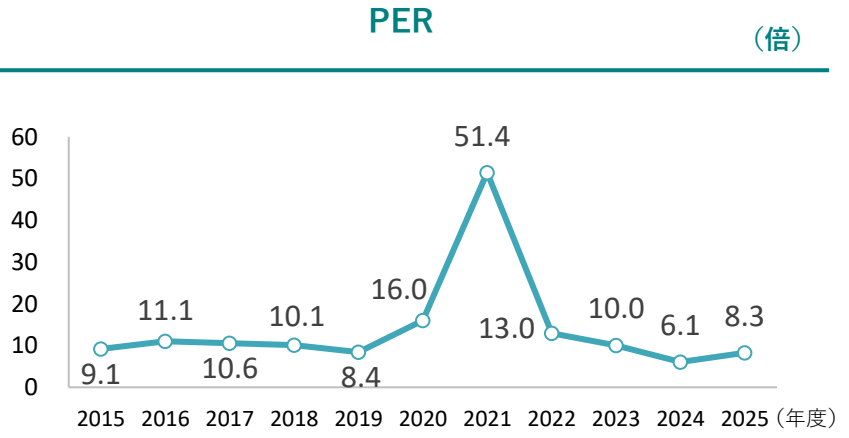
PBR



ROE



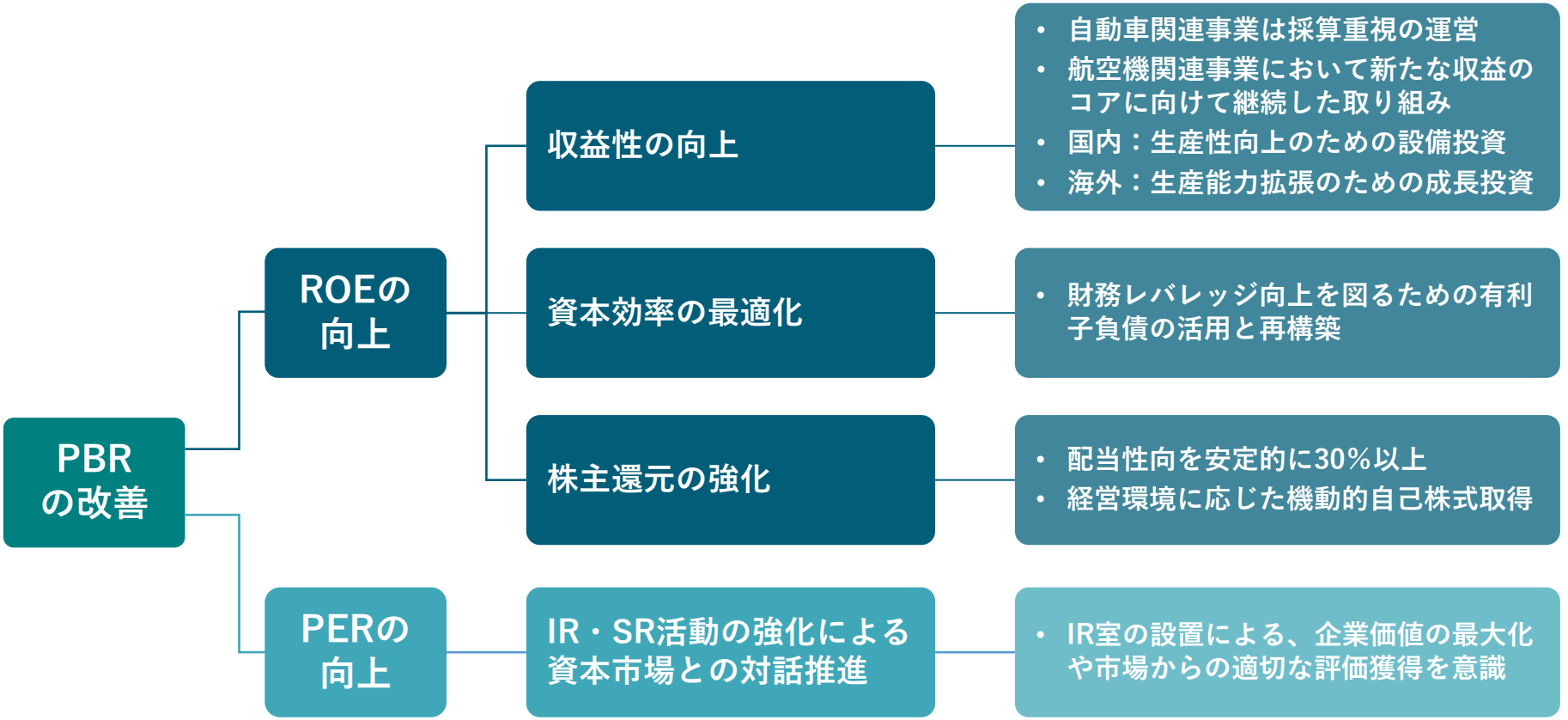
PER



©2026 YUSHIRO INC. All Rights Reserved.

企業価値向上に向けた取り組み

- 中期経営計画の着実な推進により経営目標の達成を目指すとともに、ROEとPERの向上に資する課題への対処を強力に進める



- ROEは安定的に10%以上の確保を目指す
- 同時にROEがWACCを上回るエクイティスプレッド拡大の取組の推進

©2026 YUSHIRO INC. All Rights Reserved.

当資料取扱い上の注意

当資料に記されたユシロの現在の計画・見通し・戦略等のうち歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたユシロの経営者の判断に基づいた、将来の業績に対する見通しであります。従いまして、これら業績の見通しのみに全面的に依拠されることは控えるようにお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を与え得るリスクや不確定な要素には、以下のものが含まれます。

①ユシログループの事業環境を取り巻く世界情勢

②世界の原油価格動向

③米ドルを中心とした為替レートの変動

④偶発事象　　等

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確定な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料は、あくまでユシロをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。

ユシロ
Yushiro